

CIOサポートサービス

今CIOに求められる役割とは

概要

ITが企業の「戦略」そのものとして捉えられている今、経営・オペレーション・ITを一体で考える役割として、CIO (Chief Information Officer) は企業の中核を担う重要なポジションです。CIOには情報システムのみならず、経営戦略や事業戦略に対する深い理解と能力が必要であり、その仕事は、もはや従来の情報システム部門の仕事の枠を超えたものになっています。

弊社は様々な企業のコンサルティングを通じ、多くのCIO（あるいは同等機能を持つ役員やマネジャーの方）と接してきましたが、優れたCIOと呼ばれる方には必ず彼らの仕事を補佐・サポートする組織や担当者が存在があります。CIOが本来の役割を全うするにはその補佐役が重要であると考えます。富士通総研はこうした、「CIOを補佐・サポートする機能」をご支援するコンサルティングサービスを取り揃えており、CIOが本来の機能を発揮するための環境作りをご支援しております。

CIOが果たすべき役割

CIOには、①平時（プロジェクトとプロジェクトの境目となる時期）は、「自社のIT機能や組織機能のアセスメントを行い、メリット・デメリットに関して経営層への説明責任を果たす役割」、②プロジェクト推進時は、「プロジェクトと経営陣とのパイプ役」が、それぞれ求められています。

①平時における役割

CIOには、自社の情報システムに関する経営者からのあらゆる問いが寄せられ、日々その対応に追われています。

- 情報システムは本当に会社に効果をもたらしているか
- ITコストや人員規模は適切な水準か
- 自社の情報システムの活用レベルは他社と比べてどうか
- 次に投資すべき領域/次に打つべき情報化戦略は何か

CIOは、自社のIT機能・組織に対する正しい理解・把握を行い、こうした問いに対する説明責任を確実に果たさなければなりません。

②プロジェクト推進時における役割

新たな情報システムの導入や既存システムの改善・改修、それに伴う業務改革といった社内プロジェクトを推進する際には、CIOはプロジェクトのリスクを常に正しく認識し、経営陣にレポートする「プロジェクトと経営陣とのパイプ役」として機能する必要があります。そのための具体的な活動として以下のようなものがあります。

- プロジェクトの進捗管理/課題管理
- プロジェクトにおける利害関係者間の調整
- プロジェクトの活動が上位戦略に合致しているかのチェック・モニタリング
- 投資予算やプロジェクト計画、それらの変更など、プロジェクトに関わる意思決定

CIOが抱える悩みとは

一方、自ら果たすべき役割を認識しながらも、以下のような悩みを抱えられるCIOも存在します。

①必要な情報がCIOに集まらない

CIOが本来の役割を果たすためには、正しい判断・意思決定を行うための情報がCIOのもとに集まっていなければなりません。

A. 社内の情報	経営戦略・事業戦略、情報システムの活用状況、利用者の評価、効果の度合い、IT資源（ヒト・モノ・カネ）の状況、プロジェクトの状況・リスク など。
B. 社外の情報	競合他社の動向や法規制、情報技術の動向、IT投資動向 など。 ※自社のIT活用水準のベンチマーク、情報戦略の立案などに必要となる情報

しかし、こうした情報がなかなか集まらず、正しい判断・意思決定ができずに悩んでいるCIOもいます。集めようとする情報がどこにも存在しない、誰が情報を持っているのか分からない、CIOに伝わるまでの間に情報にフィルターがかかる、情報の収集源がない（特に外部情報）などがその原因です。

②非専任化ゆえの悩み

日経コンピュータによるアンケートによると、国内の上場企業で専任のCIOを設置しているのは1割に満たない水準です。多くの企業では経営企画部長や情報システム部長がCIOを兼務していたり、あるいはCIO機能を担う役員を設置していたりしています。こうした「非専任CIO」は、ほかの職務を兼ねることによる時間的制約から、日々の情報収集や調査にパワーを割けない状態にあります。時間的制約から十分な情報収集・調査が行えず、結果、経営層への説明責任を果たせないケースもあると考えられます。

CIOには補佐役が必要

このようなCIOの悩みを解決するためには、CIOに常に正しい情報が集まり、正しい判断・意思決定が行われるように補佐・サポートする機能が必要です。従来の情報システム部門とは異なる別の「専任組織」を立ち上げてこれを実現している企業もありますし、米国には数百人レベルの組織「CIOオフィス」によってこれを実現している企業もあります。

CIOの役割が重要性を増す中、日本でも今後、「CIO補佐・サポート機能」を設置・定義する動きが増えると推察されます。

富士通総研のご支援

富士通総研は「CIOを補佐・サポートする機能」をご支援するためのコンサルティングサービスをご提供しています。富士通のシステムエンジニアとともに多くの大規模プロジェクトを支援してきた中で得た知見に基づくサービスを確立しています。

I	ITアセスメントサービス	お客様のIT資源（ヒト、モノ、カネ）を弊社独自の視点で分析し、事実の可視化と今後改善すべきポイントのご提言を行います。
II	PMO（※）サポート ※プロジェクトマネジメントオフィス	プロジェクトの進捗状況・課題の収集・整理、CIOが判断・意思決定すべきポイントの示唆とそのため情報提供を行います。
III	レポートサービス	社会情勢、法規制動向、他社事例、情報技術動向などの「外部情報」を弊社コンサルタントより定期的に発信します。

今後CIOの設置を予定されているお客様、CIO補佐・サポート機能の設置や強化をお考えのお客様、CIOが本来の役割を果たせずにお困りのお客様など、弊社にお気軽にご相談ください。上記サービスでお客様をご支援致します。

お問い合わせ先

株式会社 富士通総研

コンサルティング本部 民需グループ

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1ニューピア竹芝サウスタワー TEL:03-5401-8406

<http://jp.fujitsu.com/group/fri/>